

授業科目名 <英訳>	西洋史学(講読) European History (Seminars)				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 准教授 伊藤 順二					
配当 学年	2回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 後期	曜時限	火3	授業 形態	講読	使用 言語	日本語
題目	露書講読 2										
【授業の概要・目的】											
19世紀前半を扱った史料集の講読を通じて、ロシア語の一般的読解力を向上させるとともに、公文書・公的書簡・私的書簡・回想録などのさまざまな文体に触れさせ、19世紀的な文体に習熟させる。											
【到達目標】											
19世紀のロシア語の文章を、辞書等を参照しつつ自力で読解できる。											
【授業計画と内容】											
前期に引き続き、以下の史料集をテキストとする予定である。東アジアと関係の深い露米会社の行跡をたどることで、ロシア語の文章を身近に感じられるようにしたい。											
<p style="text-align: center;">-</p> <p style="text-align: center;">:</p> <p>(  <span style="float: right;">XVIII-</span> XIX ), 1994, (『ロシア・アメリカ会社と太平洋北部の調査：資料集 (18世紀から19世紀前半のロシア人による太平洋探検)』)</p>											
ただし、受講者の希望によってテキストを変更する可能性もある。 受講人数にもよるが、毎回1頁程度、一人あたり数行～十数行ずつの割当てで進行する。											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
期末テストはおこなわない。出席と予習の精度による。											
【教科書】											
プリントを配布する。											
【参考書等】											
(参考書)											
【授業外学習(予習・復習)等】											
予習として自分でテキストを訳しておくことが必須となる。											
(その他(オフィスアワー等))											
オフィスアワーは、火曜4限とする。											
オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。											